

平成26年度生駒市土地開発公社第2回定例理事会会議録

- 1 日 時 平成27年2月6日(金) 午前10時00分～午前10時25分
- 2 場 所 生駒市役所 401会議室
- 3 理事の定数及び現在数 定数 10名以内 現在数 7名
- 4 監事の定数及び現在数 定数 2名以内 現在数 1名
- 5 出席役員 理事 小紫雅史、稲葉明彦、中田好昭、今井正徳、奥谷長嗣、大西清隆、峯島 妙
出席者 7名
監事 松山治幸 出席者 1名
- 6 欠席役員 なし
- 7 説明のため出席した職員 事務局長 増田剛一、事務局長補佐 米田尚起、
坂東大介、坂田昌子
- 8 開 会 理事全員の出席により、理事会は成立
- 9 議事録署名理事指名 今井理事、奥谷理事
- 10 審議事項 議案第8号 平成27年度生駒市土地開発公社事業計画及び予算(案)に
ついて
- 11 審議内容
議案第8号 平成27年度生駒市土地開発公社事業計画及び予算(案)について質疑応答の結果、
原案のとおり可決された。

(主な質疑等)

松山監事： 公有用地の処分予算について、資料1で説明している用地処分理由で「国交付金を確保できることにより生駒市が再取得する」とあるが、国交付金は当初予定通り100%確保できるのか。

事務局： 国の来年度予算がまだ閣議決定された段階で内示が出ていないため、現段階では100%とは言えません。

松山監事： だいたい予定通りは確保できるということか。

事務局： 確保できるよう、国に対する要望を担当課から行っています。

松山監事： 現在策定中の生駒市の当初予算に国交付金を算入していると思うが、その交付金は、100%とはいえないが確保できるものと見込んでいるということか。

事務局： その前提で予算を作成しています。

稲葉理事： 事業担当課は諸々の事業を併せて交付金を計上しているが、今年度は要望額の6割しか交付金が確保できなかったこともあり、各事業内容を精査して優先的にやるべき事業に確保した交付金を充てている。その中で、公社買戻し事業を優先して交付金対応をしてもらっており、それ以外の事業については、各事業担当課で予算を見直すなり次年度に回すなりという対応をしてもらっていると考えている。

松山監事： (仮称)生駒北小中一貫校施設整備事業用地の買戻しについて、国交付金はなかったのに、なぜ公社が先行取得したのか。

峯島理事： 固定資産税の関係等で、地権者が年をまたがらず早く契約したいという理由から公社の方で先行取得してもらった。

中田理事： 公社取得用地について、面積が690㎡となっているが、資料1には延長130m幅員15mとある。土地は1筆か。

事務局： 土地は4筆です。

稲葉理事： 130mというのは芝山田線としての全体の延長で、27年度は旧道より上部分を公社で先行取得するもの。

中田理事： 道路部分の面積以外も含まれるのか。

稲葉理事： 道路部分のみ。

事務局： 27年度に取得する実質延長は46mです。

(その他)

稲葉理事： 公社の資金計画、市の基金から借り入れて土地を先行取得し、その取得価格に基金の利子をつけて市が買い戻すという状況がほとんどだった。しかし、数年前から公社の自己資金で取得している物件が多くなってきているが、それは利息を付けないで買い戻しとなっている。

普通預金として内部留保していれば利子が見込める資金を使うので、今後は自己資金で取得した場合は、少なくとも普通預金の利息程度は上乗せして市に買い戻してもらえればと考えている。

平成27年度買い戻し分は契約も交わされているので、今さら利子を上乗せすることはできないが、平成28年度以降はその方向でと考えているがどうか。

小紫理事長： 市の手続き上問題がなければ、普通預金程度の利子を上乗せすることは合理的だと思う。

今井理事： 基金から借り入れて取得するか自己資金で取得するか、全体としてどちらが市として有利なのか。

稲葉理事： 基金から借り入れた事業で国交付金がつけば、金利分も交付金対象になる。しかし交付金は55%で45%は市単費となり、その45%分に係る基金の利率は定期運用の関係で高い利率での負担だ。かたや公社が自己資金で取得した場合、普通預金に内部留保している資金なので低い利率での負担となる。その点では、自己資金で取得し普通預金程度の利息をつけて買い戻したほうが、市としては有利だ。

公社としても、全くの無利息でというのも運営上問題があるといえる。

今井理事： まず運用できる自己資金があるなら活用したほうが市としてもメリットがあり、利息を上乗せして市に買い戻してもらったほうが公社としても利益が出るということ。

小紫理事長： 個々のケースがあるかと思うが、基本的にはその方向で進めることでよいか。

各理事： 了承